

中小事業者のAI活用支援による企業DXの推進

増田 嶺¹, 藤原 翔太², 佐藤 わか葉², 亀井 仁志³
(創発科学研究科¹, 創造工学部², 情報メディアセンター³)

1. 背景

AIを導入したいがハードルが高い…

金銭面

- 高性能サーバ導入やクラウド費用は**高額**

運用面

- システム構築に**専門知識**を要求
- 継続的**なモデルトレーニングやシステム運用が必要

2. 課題

MLOpsは難しいAI管理の解決策
しかし、依然高いハードル…

- 構築や運用手順が複雑
- クラウド利用が増えるとコストも増加 (GPU・ストレージは高い)
- そもそもMLOps自体が難解

容易に運用でき、コストも抑えられるMLOps基盤が必要！

3. 提案

ハイブリッドMLOpsで、
運用の容易さとコスト抑制を両立！

Point 1

MLOpsで開発運用サイクルを自動化

- 継続的なAI開発が可能

Point 2

専門家による構築済み基盤で、学習コストなし

- インフラはMLOps管理者にお任せ
- 企業はAI開発と運用に専念

Point 3

柔軟なリソース利用でコストを抑制

- ストレージやGPUなど、既にあるものを最大限有効に活用
- 他企業と共有すればより安価に

継続的なAI開発基盤を
安価に運用可能！

